

事業名	対 象	内 容	日 程	問合せ先
子ども向け藤前干潟観察会	3歳～小学3年生 (保護者同伴)	干潟に入り、生きもの観察をしてその生態を学びます。	5月3日(水・祝)	①
ひがたにくるトリ、どんなトリ?	小学1～3年生 (保護者同伴)	野鳥観察をした後、カモのミニ模型へ色めりをします。 [講師：ハンドメイド作家 Cha Chattoさん]	7月27日(木)	①
干潟体験	小学4年生～大人 (保護者同伴)	干潟に入り、生きもの観察をしてその生態を学びます。	8月3日(木) 8月17日(木)	①
干潟を音であそぼ!	小学生 (保護者同伴)	干潟と音楽を組み合わせたイベント [演奏者：パーカッションスト 本多“taco-bow”正典さん]	8月29日(火)	②
ヨシ原の人気者 カニとトビハゼに会おう!	どなたでも (小学生以下は保護者同伴)	ヨシ原の中に入って、生きものを観察してその生態を学びます。	9月30日(土) 10月15日(日)	①
バードウォッチング	どなたでも (小学生以下は保護者同伴)	本格的な望遠鏡で、秋・冬の野鳥を観察しよう!	11月18日(土) 2月23日(金・祝)	①
サイエンスカフェ	どなたでも (小学生以下は保護者同伴)	Coming soon...	秋～冬	①
藤前干潟写真展	どなたでも	藤前干潟の魅力が詰まった写真を展示します。	9月2日(土)～ 10月9日(月・祝)	⑧

事業名	日 程	主 催	問合せ先
'23 春の藤前干潟クリーン大作戦	5月20日(土)	藤前干潟クリーン大作戦実行委員会	③
'23 秋の藤前干潟クリーン大作戦	10月28日(土)	藤前干潟クリーン大作戦実行委員会	③

事業名	日 程	主催・問合せ先	
愛鳥週間写真展2023	4月22日(土)～5月28日(日)	名古屋市野鳥観察館	⑧
生きものまつり	5月6日(土) ※雨天中止の場合、観察会のみ5月7日に順延	NPO法人藤前干潟を守る会	④
愛岐の里山たいけん隊～春の里山にいこう!～	5月27日(土)	なごや環境大学実行委員会	⑤
漁師さんに挑戦!	6月4日(日)	NPO法人藤前干潟を守る会	④
企画展「コアジサシ展」	6月10日(土)～9月30日(土)	稲永ビジターセンター	⑦
環境学習プログラム「干潟の生きもの観察会」	6月17日(土)	稲永ビジターセンター	⑦
企画展「漁師さんのいた町・漁師さんのいた海」	7月22日(土)～12月17日(日)	藤前干潟活動センター	⑥
渡り鳥調査隊とコアジサシのデコイ塗り	7月29日(土)	稲永ビジターセンター/名古屋市野鳥観察館	⑦⑧
プランクトン観察会	8月12日(土)	NPO法人藤前干潟を守る会	④
環境学習プログラム「夏休み!干潟観察会」	8月29日(火)	藤前干潟活動センター	⑥
秋の干潟観察会	9月2日(土)	NPO法人藤前干潟を守る会	④
秋の野鳥写真展2023	9月2日(土)～10月9日(月・祝)	名古屋市野鳥観察館	⑧
カニとトビハゼの観察会	9月10日(日)	NPO法人藤前干潟を守る会	④
石ころ干潟観察会	10月14日(土)	NPO法人藤前干潟を守る会	④
環境学習プログラム「石ころ干潟観察会」	11月12日(日)	藤前干潟活動センター	⑥
カワザンショウガイ調査	11月25日(土)	NPO法人藤前干潟を守る会	④
渡り鳥調査隊とヨシのクラフト	12月9日(土)	NPO法人藤前干潟を守る会/名古屋市野鳥観察館	⑧
渡り鳥調査隊とカモの足型とり	1月27日(土)	NPO法人藤前干潟を守る会/名古屋市野鳥観察館	⑧
渡り鳥調査隊～カモかもウォッチング～	2月10日(土)	NPO法人藤前干潟を守る会/名古屋市野鳥観察館	⑧
渡り鳥調査隊～藤前干潟の野鳥を観察しよう～	4月22日(土)・5月5日(金・祝)・6月3日(土)・ 8月19日(土)・9月30日(土)・10月14日(土)・ 11月11日(土)・3月23日(土)	名古屋市野鳥観察館	⑧
環境省レンジャー写真展2023	未定(2回実施予定)	環境省名古屋自然保護官事務所	②

問合せ先	電 話	休館日	開館時間	Eメール
① 藤前干潟ふれあい事業実行委員会事務局 (名古屋市環境学習センター内)	052-223-1067	月曜日 (祝日の場合は翌平日) 年末年始	9:30～17:00	a2662@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp
② 環境省名古屋自然保護官事務所	052-389-2877	土・日曜日、祝日 年末年始	9:00～17:00	WB-NAGOYA@env.go.jp
③ 藤前干潟クリーン大作戦 実行委員会事務局	090-6399-9774	—	—	cleanupfujimae@gmail.com
④ NPO法人 藤前干潟を守る会	080-5157-2002	—	—	info@fujimae.org
⑤ 「なごや環境大学」 実行委員会事務局	052-223-1223	月曜日 (祝日の場合は翌平日) 年末年始	9:30～17:00	jimu@n-kd.jp
藤前干潟周辺の施設	電 話	休館日	開館時間	Eメール
⑥ 藤前干潟活動センター	052-309-7260	月曜日 (祝日の場合は翌平日)	9:00～16:30	—
⑦ 稲永ビジターセンター	052-389-5821	第3水曜日 (祝日の場合は第4水曜日)	9:00～16:30	—
⑧ 名古屋市野鳥観察館	052-381-0160	年末年始	9:00～16:30	nagoya.kansatukan@car.ocn.ne.jp

みて! ふれて! かんじる!
藤前干潟ふれあい事業

藤前干潟の魅力
皆さんに
お伝えしたくて
名古屋市、環境省、
愛知県、NPO等が
協力して様々な
イベントを
行っています!



ぜひ

藤前干潟に足をお運びください!

藤前干潟
ふれあい
事業

// 2023 年度 //



お問い合わせ先

藤前干潟ふれあい事業実行委員会

(事務局：名古屋市環境学習センター)

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号
伏見ライフプラザ13階 名古屋市環境学習センター内

TEL 052-223-1067

FAX 052-223-4199

Eメール a2662@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

藤前干潟ふれあい事業

検索

Eメール



藤前干潟ふれあい事業とは？

生きもの豊かな藤前干潟の重要性を伝えるため、行政やNPOなどが協働してさまざまな活動を行っています。ぜひ 皆さん藤前干潟に遊びに来てください！



いろんな会場に出張して、写真コンテストの作品などで野鳥や藤前干潟の魅力をご紹介します。

2022年度の

イベントの様子をのぞいてみよう！



藤前干潟ふれあい事業 YouTubeチャンネル開設！



YouTube で藤前干潟ふれあい事業でのイベントの様子やここでしか見られない様々なコンテンツを用意していきます！ぜひチェックしてみてくださいね！

URL <https://www.youtube.com/channel/UCLGzY7jN75ejAY5qQESXjZQ>

季節によってかわるさまざまな種類や姿の鳥をみんなで見ました。



様々な手法でじっくり藤前干潟や生きものにしかかわるお話を聞くことが出来ました。

ラムサール条約登録 20周年記念イベント



2022年11月に藤前干潟がラムサール条約に登録されて20周年を迎えるにあたり、藤前干潟をより身近に感じてもらえるように、イベントを実施しました。

藤前干潟ふれあい事業 ウェブサイト！

藤前干潟ふれあい事業のイベント情報をこちらのウェブサイトで随時更新します！

URL <https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000161773.html>



藤前干潟の歴史

～守られた干潟を未来へつなぐ～

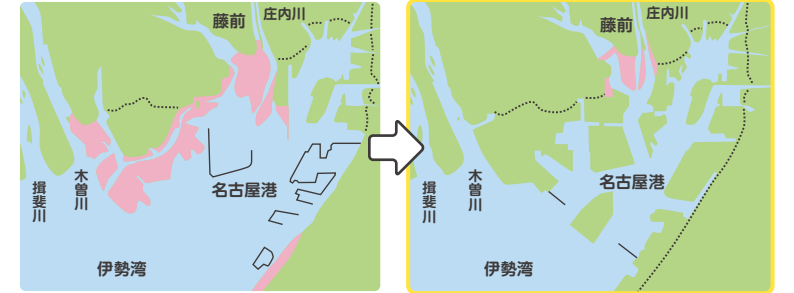
その昔、伊勢湾の奥には広大な干潟が広がっていました。しかし工業用地としての利用や大規模干拓で埋立が進み、最後に残ったのが藤前干潟です。

しかし、その残されたわずかな干潟にも埋立の危機が訪れます。ごみの埋立処分場とする計画が発表されたのです。当時の名古屋市は年々ごみが増え続けていて、今まで使用していた埋立処分場ではもうわずか数年で埋める場所が足りなくなってしまうと予想されたため、新しい埋立場所が必要となっていたのです。

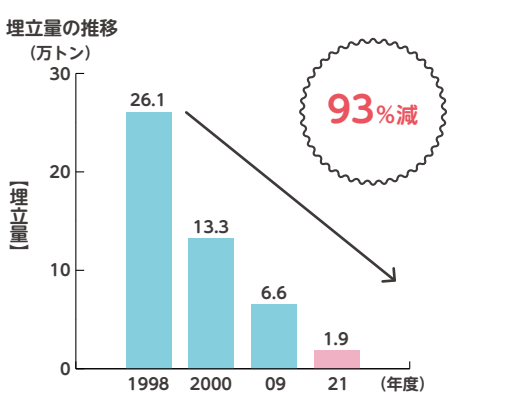
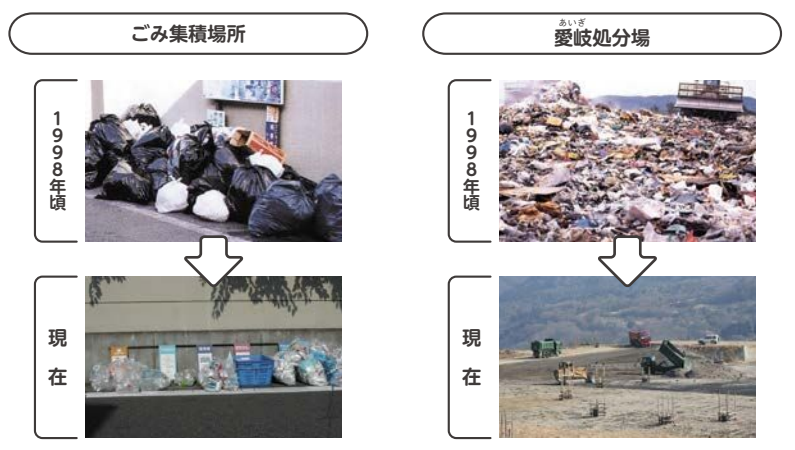
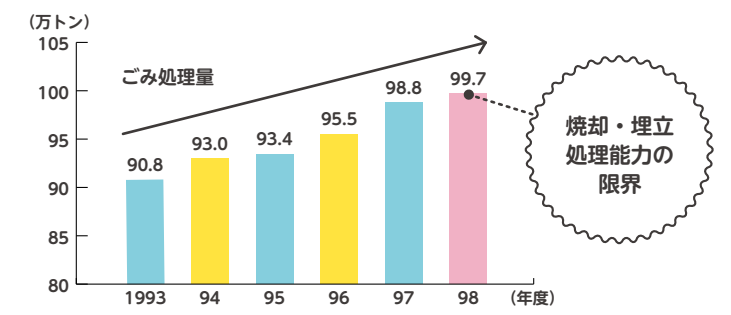
それでも、藤前干潟は渡り鳥をはじめ多くの生きものが生息する大切な場所であったため、守る必要があるとの市民の声が高まりました。

名古屋市は悩みに悩んだ結果、「ごみの処理も渡り鳥もどちらも大切」として、1999年1月に埋立計画を中止し、2月にごみを大幅に減らすことを呼びかける「ごみ非常事態宣言」を出しました。

そこから市民、事業者、行政が一体となり、名古屋市の人々が力を合わせて徹底的な分別・リサイクルに取り組んだ結果、今では埋立量を10分の1以上に減らすことができました。



点線：埋立て前の海岸線 ピンク：干潟



ラムサール条約湿地 藤前干潟

ラムサール条約は1971年2月2日にイランの都市ラムサルにて開催された国際会議で採択された、正式名称を「特に水鳥の生息地としての国際的に重要な湿地に関する条約」と呼ばれている条約です。

藤前干潟は、国の鳥獣保護区に指定された2002年にラムサール条約に登録されました。多くの人々の協力のもとに守られた、渡り鳥の重要な飛来地である藤前干潟は2022年11月18日にラムサール条約登録20周年をむかえました。これからも引き続き藤前干潟を守るため、名古屋の環境のため、一人ひとりが分別・リサイクルなどの環境を守る活動に取り組むことが大切です。

